



沿道にはモニュメントやせせらぎなどが設けられている



小学生がデザインしたタイル画



多彩な植栽が施され潤いのある情景を演出している

DATA・BOARD 25

- ①香川県高松市松縄町・伏石町
- ②延長：650m、幅員：39m(歩道部幅員：11m)
- ③高松琴平電鉄琴平線三条駅から徒歩約20分、JR予讃線高松駅から車で約20分、高松自動車道高松西ICから車で約20分
- ④栗林公園
- ⑤レインボーロードサマーフェスタ



25 太田第2シンボル地区レインボーロード



高松市の太田第2地区は、すでに中心市街地が飽和状態となっているため、南部地域における新たな拠点づくりを目的に土地区画整理事業による開発が行われている地域である。「太田第2地区レインボーロード」は、この地域の中心道路として整備が進められたもので、沿道には大型商業施設や専門店なども進出しており、新しい商業集積地が形成されている。

道路の整備にあたっては、車道の両側に約十一メートルの歩行者専用道路を設け、全体を四つのゾーンに分け、それぞれを光・水・花・風をテーマにした特徴のあるプロムナードづくりを行っている。沿道には、多彩なモニュメントをはじめ、せせらぎ、休憩所などが設けられているほか、植栽や植樹が施され、潤いのある道路空間が創出されている。また、計画に際しては、まちづくり協議会からの意見を取り入れており、地元の小学生がデザインした平板タイルを路面に敷設するなど、地域との連携を図りながら整備が進められた。

整備後は、通行者や商業施設を訪れる買い物客に親しまれる道路としてだけでなく、せせらぎで子供たちが遊んだり、潤いのある空間として市民の憩いの場として利用されている。なお、レインボーロードの名称は、一般公募によって小学生から発案されたものが採用された。